

海外生活レポート

アフガニスタン 9

Norko Dethlefs(紀子・デスレフツ)さん

元気ですか？

こちらでは凍てつく日々から一転して(まだ夏になってもいらないのに)気温37.7を上回る毎日が続いています。私も教室では落ち度のないようにパンツ・ルックで上着の上に軽い長めのコートや羽織り、頭もスカーフで覆うようにしています。先日、「シンガポールに1週間滞在していたときにはショートパンツとTシャツを着ていた」と話したら、生徒たちはひどくショックを受けていました。私の英語の教室に通って来る男子生徒たちは、腕であれ脚であれ、女性の素肌というものを見たことがない子がほとんどです。そんな彼らですから、西洋映画を刺激的と思うことも、在留の西洋人女性をふしだらだと決めつけて通りですれ違ふと卑猥な言葉を投げつけたりするのも無理のないことかもしれません。通りを歩いていると、私を西洋の若い女性だと思った男の子たちが「お前が近くに寄ってみろよ！」とか互いに言い合いながら、ひそひそクスクス私の後ろをついてきたりします。でも私が眼鏡をかけているのに気が付くと、こんどは「おばあさんだ!!」って決めつけて歓声をあげて散っていきます!!

人とのつながりに感激!

3月にお便りしたあと、私は日本とシンガポールで家族や友達と一緒にとても貴重な時を過ごしました。折にふれ、こちらでの生活との余りにも大きな、まるで別世界のような違いを痛感しつつも、反面、あらゆる設備の備わった超近代的な高層ビルに住んでいようが、電気も水道もない泥土の家に住んでいようが、人の心は変わらないのだという事実にも強く打たれました。こちらに戻ってきた時、みんなに「お帰りなさい!!」と温かく迎えられた時の喜び!日本やシンガポールで私にとってかけがえのない人々と再会した時の喜びに勝るとも劣らないものでした。

すべては「インシャラー」

「Enshalla」-「それが神のご意志だから」を意味するこの言葉は、こちらでは人の生死を語る時に実によく使われます。事実、信じられないくらい劣悪なこちらの衛生状態や度重なる内戦や紛争をこうして生き延びている人々がいるということは、神の意志にほかならないのかも知れません。25年前、ここヘラート市では紛争犠牲者の血が露となってこぼれたと言われていました。棒や石ころしか身を守る武器を持たない2万人以上のアフ

ガニスタン人がロシア軍の銃弾に倒れたからなのですが、この時のことについても彼らのコメントは「神のご意志だった」です。美しい蝶のようなものをつまみ上げようとしたとたんに手首から先を吹き飛ばされた男子学生がいます。その蝶のようなものは、実はこの国にまだ無数に埋まっている地雷でした。この男性は片手を失って不自由ながらも頑張っていますが、私が心から気の毒にと言っても「それが神のご意志ですから」と首をすくめるだけです。私たちのところで働いている親切な守衛さんが先週、自分の子供の葬式があるからと一日休みをとりました。生まれただけの女の赤ちゃんで、二日しか生きられなかったそうです。それを聞いた私が泣いてしまったのに、本人はまるで、残念ながらコップが割れてしまいました、とでも言うような語り口で「悲しんではいけません、神のご意志なのだから」と逆に私をたしなめるのです。でも、私が一時間後に奥さんと遭ったばかりの子供たちのために心ばかりのものを持って行ったら、その守衛さんもほとんど泣き出しそうな様子でした。

妻は耕作地?

見聞きすることの中には、笑える話もあります。こちらの男性には自分の妻(たち)のことを「丹精こめて世話をすれば立派な実りをもたらしてくれる土地」のように思っている人が多いとか。それを最初聞いた時は苦笑程度でしたが、そのあとに「耕した土地から豊かな収穫を上げたら、男たちはそろそろ新しい土地を買う潮時だ」と言われた時には心底頭に来ました。

見た目年齢は、何歳ですか?

収穫物(=子供たち)の年齢は、ややこしくてよくわからなくなることが頻繁にあります。こちらには出生届けも、誕生日を祝う風習もありません。自分たちは兄弟だという男の子が二人、書類に揃って「20歳」と記入したのですが、双子でも異母兄弟でもないのです。係官が眉をひそめると二人は「21歳でも何でも、書類に書いておかしくない数に変えてくれていいです!」と熱心に頼んでいました。歳を言い当てるのはアフガニスタンでも、他の国と同じでとても難しいです。でもこちらの人たちは実際の年齢よりもずっと若く見ることが多いです。

愛と勇気そして神様に感謝

女子刑務所での英語レッスンの件は、相変わらず申請中のままほとんど進展が見られません。でも私たちの英語学校に入れてほしいとグループでやってくる現地の若い女性たちの数は増える一方です。

アフガニスタンで新たなチャレンジを始めて、もう1年以上たちました。神様に感謝することばかりですが、それと同じくらい、家族や友人から寄せられた愛と勇気にも感謝です。

紀子

地球ステージ ロビーコンサートくわんてん!

国際交流センターでは、世界の様々なジャンルの音楽をライブ演奏でお楽しみいただくコンサートを無料で開いています。

今年3月は第1回のロビーコンサートとして、「春風にのせて世界のうたを」と題し、洗足学園音楽大学の学生と卒業生で編成されたグループによる、合唱のコンサートを開きました。当日は土曜日の昼どきということもあり、180人を超える大勢のお客様に、アイルランド民謡やスコットランド民謡、日本の歌などの美しい歌声をお楽しみいただきました。



つづく第2回は、7月にジャワ音楽と影絵芝居、あわせてコロンビア音楽をお楽しみいただきました。インドネシア出身のスミヤントさんの奏でるジャワ音楽独特のゆったりとしたメロディーに合わせ、会場の時間もゆるやかに流れていきました。



また影絵芝居は、インドネシアの民話を脚色した日本語の語りをバックに、水牛の皮に美しい細工を施したワヤンとよばれる人形が白い幕に影を映し出し、親子連れもお年寄りも、その幻想的で不思議な世界に引き込まれていきました。

国際交流協会 だより

一方コロンビア出身のフェルナンドさんは、コーヒールンバなど日本でも馴染みの曲をラテンムードたっぷりに演奏してくださり、会場は拍手も出て、大いに盛り上がりしました。

最後は赤道にまたがるふたつの国の、音楽のコラボレーションでした。それぞれの国の楽器の音色が、国を超えて溶け合い、「地球ステージ」さながらの、国際色豊かなコンサートとなりました。



オウ シュクレイ

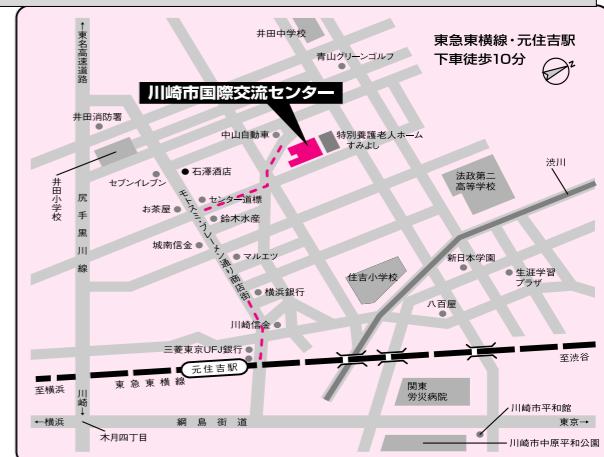
さて次回は12月に、中国北京出身の王淑麗さんによる、二胡の演奏をお楽しみいただく予定です。日本でお馴染みの曲や中国の名曲を予定しています。哀愁に満ちた二胡のメロディーをどうぞお楽しみください。

第3回ロビーコンサート

日時: 12月9日(日)
午後2時から午後3時まで
開場: 午後1時30分より
申込みは不要。座席に限りあり
場所: 国際交流センター ロビー
二胡演奏: 王淑麗(おう しゅくれい)
曲目: 里の秋 夜来香 千の風になって
涙そうそう 川の流れるように
他を予定

川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町 番 2号
TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010
http://www.kan.or.jp/kic/



編集後記

今年度は「もっと知ろう留学生」というタイトルで特集を組んでいます。その2回目98号では留学生との座談会をまとめてみました。

出席して下さった留学生の皆さんは、前向きで、とても真剣に日々の生活と向き合っていました。将来を見つめ、目的に向かって取り組んでいる姿を垣間見ることができました。原稿作成のテープを起こしていると、いきいきとした話ぶりが、しっかりとした日本語で伝わってきます。目標としていることが、叶えられるよう陰ながら応援しています。

福井すみ代